

戸定が丘ニュースVOL. 1

みんなで戸定が丘を応援しよう！！

戸定が丘の歴史と環境を守る松戸市民の会が設立されました。

多くの方々からのご賛同ありがとうございます。

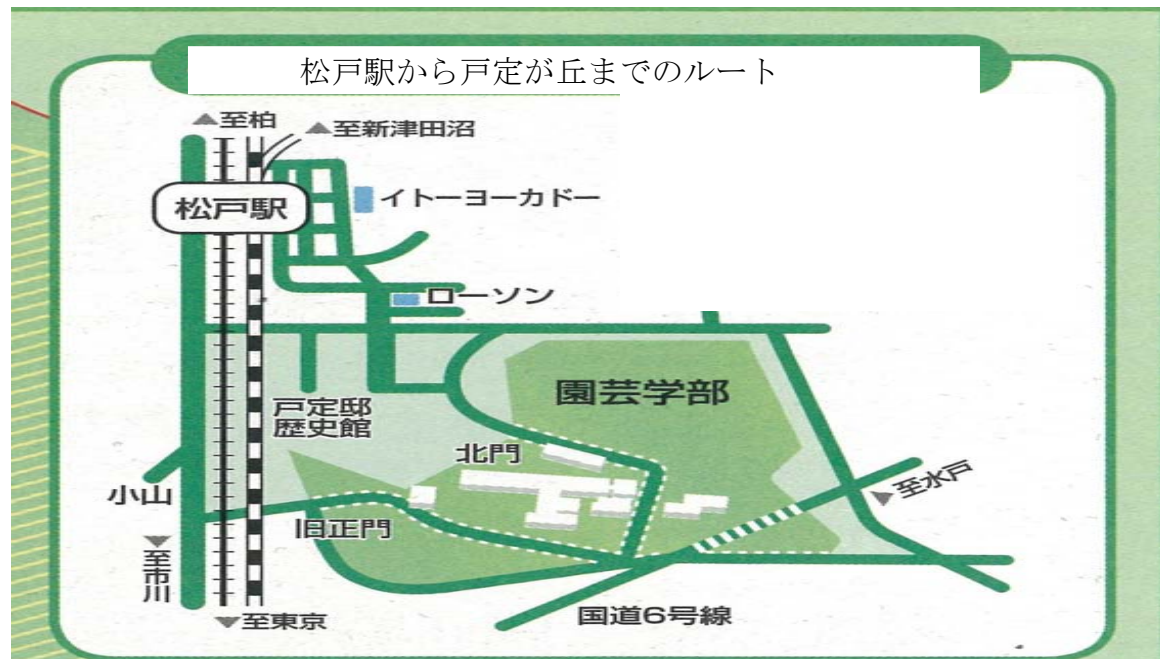
戸定が丘ってなに？・・・戸定(とじょう)とは古く中世の城郭に起源を持つ地名です。この地には明治17年に水戸藩最後の藩主であった徳川昭武(あきたけ)の別邸戸定邸(国の重要文化財)が生まれ、松戸徳川家の住まいとなりました。現在、戸定邸を含む旧松戸徳川家の敷地は戸定が丘歴史公園として整備されており、隣接する千葉大学園芸学部を含めた一帯を指します。



設立総会の様子です。

去る、5月18日(火)千葉大学園芸学部事務棟会議室にて設立総会が開催され、今までの「千葉大学園芸学部の移転に反対する市民の会」が**新たな組織**に生まれ変わりました。

リニューアルした会は、戸定が丘の地域一帯を歴史、文化、緑地環境で貴重な地域資産と位置付け、この価値を**さらに**高めていく活動を行っていくもので、市民との**パイプ役**となるものです。



千葉大学園芸学部の敷地内は教育研究施設ですので、散策される際には、授業や研究の妨げにならないよう次の点にご注意してください。

- ① 千葉大学園芸学部の事務(事務棟1階の総務グループ)へ立ち寄り、散策許可を得てください。(※入試時期や行事のある場合は許可されない場合があります。)
- ② 散策ルートはマップ上の点線ルートのみです。それ以外の花壇、植栽地、緑風会館以外の校舎、研究圃場への立入りは禁止です。
- ③ キャンパス内での動植物の採集や折損、タバコやゴミのポイ捨ては厳禁です。
- ④ 虫刺され、熱射病、転倒など散策中のケガや健康管理はご自身の責任で対処してください。
- ⑤ 散策には徒歩でお越しください。(一般の方の駐車場はありません。バイクはエンジン音が授業の妨げになります。自転車は駐輪場に駐輪してから徒歩で散策願います。)
- ⑥ トイレは緑風会館1階をご利用下さい。(平日のみ) ※土日は全ての建物が警備されていますので、入ることはできません。

詳細は 園芸学部総務グループ TEL.308-8703 まで

◆◆「園芸学校」の思い出 (寄稿 市民の会会長 宇田川 正) ◆◆

私は、昭和16年に松戸町(当時)宮前町に生まれました。家は、水戸街道沿い松戸神社の斜め前で「元木屋」と云う屋号で古くから餅菓子屋を家業としておりました。現在の戸定が丘の一角に位置する千葉大学園芸学部(当時の町の人達は「園芸学校」と云っていました。)の云わば、お膝下で生まれ育ちました。私の幼児期から記憶に残る60有余年を遡り、「園芸学校」にまつわる思い出を少し述べさせていただきます。

昭和20年代、当時の松戸の小学校はどこもそうでしたが、入学後、初めての遠足は園芸学校と決まっていた。フランス式庭園でお弁当を食べ、みんなで苑内を裸足で駆け巡りました。帰りがけの坂道は新緑がとてもきれいでした。

そして、夏は「園芸学校のプール」です。小学校中学年になると先生に引率され、北側のじゃり道の坂を上り、到着後すぐ、隣のテニスコートで準備体操の後、井戸水のとびきり冷たいプールに飛び込みました。プールに長く入って泳いでいる友達の唇は、一様に紫色でした。そして小学校高学年の夏休み前、受持ちの先生が、園芸学校にまつわる怪談話をするのです。戸定が丘の下の線路道を越え、水戸様(戸定邸)の裾を抜け、園芸学校に登って行く坂道は、当時、木造で格調高き講堂の裏手に出るのですが、その木立の中に「開かずの便所」があるのです。

昔、園芸学校の学生が学業、人生に悲観して自殺をした所で、その便所のドアは決して開かなかったとか。私達子どもは、もう夕方薄暗くなると、この道は恐くて絶対通れませんでした。また、中学3年の折、園芸学校の学生が教育実習のため(当時は教生と言いました。)、私達のクラスに配属になりました。ある日の休み時間、その教生が、「北帰行」の歌を自ら歌い教えてくれました。

後年、小林旭の歌でヒトするそれより随分前の事でした。『建一高旅高追われ国をば去らん・・・』静かに哀調を帯びた声で歌ってくれた教生は確か「中村先生」と私達は云っていた様に覚えているのですが、今となっては、この「中村先生」がどうしてこの歌を知っていたのか、又現在どこで、どうされておられるか、分かりませんが、未だに深く印象に残っております。

松戸のまちの人達は、「園芸学校」が開校して以来、この学校、そして学生に対し、深い親しみと尊敬の念を持ち、又まちの誇りとして来ました。園芸学校側も、戦前の町民を交えた大運動会や、戦後の戸定祭における仮装行列が、まち中を練って歩いた事など、この町との濃密なつながりを大切にしていたと思います。

今、私達は「園芸学校」が千葉大学園芸学部に更衣して以来、60年余を経たこの時に改めて、この町と学校の一体感や係わりというものに是非とも復活したいものと考えます。そして、この大学も含め、緑豊かな戸定が丘一帯の文化と歴史が新たなこのまちの象徴として内外の注目を集め、発展することを望んで止みません。

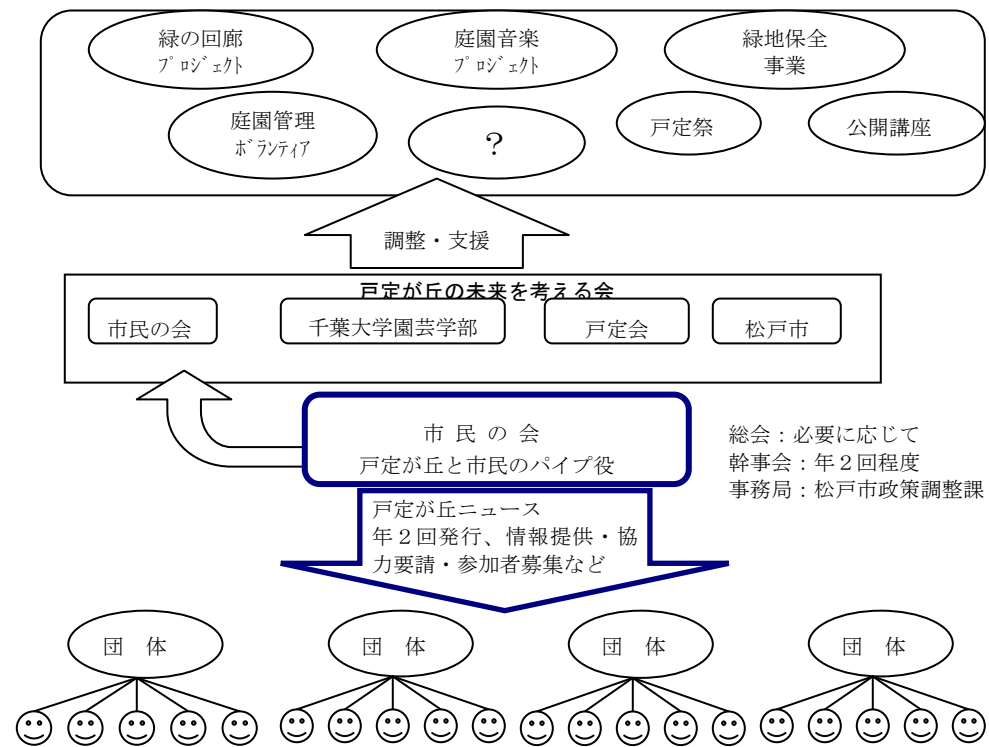
当日は、「市民の会」会長ほか新役員の選任を行い、会の規約や今後の活動内容について承認を
しました。なお、選任された役員は次のとおりです。

会長	宇田川 正氏 ((千葉大学存続活動経験者、前副市長)
副会長	松川 正氏 (松戸市市政協力委員連合会会長)、石上 瑠美子氏 (松戸シティガイド代表) 榎本 孝芳氏 (江戸川松戸フラワーライン実行委員会運営委員長)
顧問	倉田 寛之氏 (松戸市名誉市民)、渡辺 博道氏 (前衆議院議員)、石井 賢二氏 (千葉大学 存続活動経験者、千葉大学園芸学部OB)
幹事	下山誠氏 (松戸商工会議所会頭)、吉野寅二郎氏 (松戸ふるさと森の会会長) 岡野厚子氏 (松戸市体育協会副会長)、恩田平二氏 (松戸市社会福祉協議会会長) 加藤雅章氏 (松戸市文化団体連盟会長)、杉浦孝夫氏 (松戸市観光協会会長) 中村隆氏 (とうかつ中央農業協同組合経営管理委員会会長)、文入加代子氏 (松戸市消費者 の会会長)、村中鉄也氏 (松戸青年会議所理事長)、内藤進氏 (千葉大学存続活動経験者、千 葉大学園芸学部OB)

会の今後の活動内容

- ☺ 戸定が丘と市民のパイプ役として、戸定が丘ニュースを通して賛同団体に
戸定が丘に関する**情報を発信**していきます。
- ☺ 千葉大学園芸学部を支援する活動への**参加を呼びかけ**ていきます。
- ☺ 千葉大学、松戸市、戸定会 (千葉大学園芸学部の同窓会組織)、市民の会で組織する
戸定が丘の未来を考える会へ参加し、市民の立場から**提案**をしていきます。

戸定が丘と松戸市民の絆を深める事業イメージ



皆様も、是非 戸定が丘に

「来て、見て、感じて！」

★ 戸定祭が開催されます。



来る、11月5日・6日の2日間、千葉大学園芸学部
学生による戸定祭が開催されます。
地場野菜の即売(予定)など色々なイベントが予
定されております。

戸定会祭の詳細は、
園芸学部学務グループ 308-8715 まで

★ 緑の回廊ツアー



松戸シティガイドが、戸定が丘歴史公園から千葉大学園芸
学部の歴史ある庭園まで案内するツアーです。
例年、春の「桜の回廊ツアー」、秋の「紅葉の回廊ツアー」
を開催しております。

開催日は、広報まつどでお知らせします。
上記以外で、団体がガイドツアーを希望される場合はご相談
下さい。

詳細は、松戸市観光協会事務局 商工観光課内
TEL366-7327 まで

★ 庭園音楽プロジェクト



左の写真は、6月に実施したマリimba演奏会の様子です。
これから芸術の秋に向け、戸定邸でアートに富んだイベントを予
定しています。
重要文化財に指定されている近代和風建築の中で聴く演奏会
に是非お越し下さい。イベントの開催は、その都度広報でお知
らせします。

詳細は、戸定歴史館 TEL362-2050 まで

★ 戸定歴史館 (博物館)



戸定歴史館は、戸定邸の公開や展示室で松戸徳川家の伝来品
を展示しています。展示内容は約3か月毎に変更されます。
今後の予定

7/17~9/26 「徳川昭武のみた明治のまつど」展
10/9~12/26 「徳川慶喜家 最後の家令」展

※旧公爵徳川慶喜家は、明治35年に徳川宗家から分家し成立
しました。家令とは、家政運営にあたる最高位の役職名で、
徳川慶喜家の家令を務めた古澤秀彌氏所蔵の資料を展示す
る特別展です。

詳細は、戸定歴史館 TEL362-2050 まで